

# 愛知支部展報告

## 一線美術 愛知支部展を終えて

一線美術愛知支部 代表 鈴木 康 則

- 会 期…令和4年7月26日(火)～31日(日)
- 会 場…刈谷市美術館第3展示室
- 来場者…1,169人

気温 35 度超えが日常となってしまった今夏、7月26日から31日までの6日間、刈谷市美術館において美参会&一線美術愛知支部絵画展を開催しました。

第72回一線展への出品を見据えて制作した100号の作品8点を中心に総数47点(出品者12人)を展示することができました。

この支部展は、本展に向け格闘した自身の作品を傍観者の眼で眺めることができる機会でもあり、様々なアドバイスや気づきを得るチャンスでもあります。

コロナ禍に加え、猛暑続きで外出を控える旨の報道もありましたが、初日正午から開場すると、思いがけず多くの来場者が訪れてくれました。

大作をはじめ1人あたり2～5点の作品を一度に鑑賞できるこの展覧会を毎年楽しみにしてくれているファンが沢山いるようで、頼もしい限りです。

来場者からは、「どの作品も馴染み易いモチーフであり、またそれぞれに個性ある作品で見飽きない。」「大小複数の作品から作者の個性が垣間見られる。」と大変好評をいただくことができました。また、会場の一角に「第72回一線展リーフレット・案内DM」を置いたところ、多くの方が手にしてくれました。名古屋巡回展への来場も期待するところです。

猛暑の中ではありましたが、最終日まで多くの鑑賞者を迎えながら会期を終えることができたことをお伝えし支部展の報告とさせていただきます。

